

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、下記検査項目におきまして、検査内容の変更をご案内いたします。  
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。  
謹白

### 記

■ 变更日期 2022年10月3日(月) ご報告分より

### ■ 対象項目

項目コード	検査項目
27049	sd LDL-C (健診)

### ■ 変更内容

測定試薬が体外診断用医薬品として承認を受けました。これに伴い、基準値が将来の冠動脈性心疾患(CHD)発症リスクの高低を判定するための臨床カットオフ値35mg/dLに変更となります。健診基準値においては、臨床カットオフ値35mg/dLを含めた4区分の健診基準値への改訂がされましたので、それに合わせ、サービス報告書の判定基準を変更いたします。また、日本人間ドッグ学会の判定区分改定に伴い、区分の変更、説明文については表現の変更を実施いたします。

変更点	新		現	
	判定 sdLDL-C 値	説明文	判定 sdLDL-C 値	説明文
判定/ sdLDL-C 値/ 説明文	異常なし 25mg/dL 未満	sd LDL-C 値は異常ありません。今後も正しい食習慣・運動習慣を継続してください。	正常 30.0mg/dL 未満	sd LDL-C 値は正常領域です。今後も正しい食習慣・運動習慣を継続してください。
	軽度異常 25~ 34.9mg/dL	sd LDL-C 値が少し高めです。生活習慣の改善による数値の低下を目指してください。 (裏面参照)	軽度異常 30.0~ 39.9mg/dL	sd LDL-C 値がやや高いです。裏面資料をご参考にし、生活習慣の改善による数値の低下を目指してください。



	要再検査・生活改善 35~44.9mg/dL	sd LDL-C 値が高いです。生活習慣改善とともに、他の脂質検査や基礎疾患の有無を含め総合的に判断が必要です。循環器専門医への受診をお勧めします。	要経過観察 40.0~49.9mg/dL	sd LDL-C 値が高いです。中性脂肪や LDL-コレステロールの値も高ければ循環器専門医の受診をお勧めします
	要精密検査・治療 45mg/dL 以上	sd LDL-C 値がかなり高いです。動脈硬化性疾患の検査を含め、循環器専門医への受診を強くお勧めします。	要治療 50.0mg/dL~	sd LDL-C 値がかなり高いです。動脈硬化を引き起こすリスクが高いため、中性脂肪や LDL-コレステロールも高ければ、循環器専門医を受診してください。
監修 (表面)	東京医科歯科大学病院 保険医療管理部 藍 真澄 先生		東京医科歯科大学医学部附属病院 保険医療管理部 藍 真澄 先生	
参考文献	中村 麻里衣 先生(東京医科歯科大学), 他:新薬と臨牀 71(1):3~12, 2022.		今岡 渉 先生(関西労働保健協会), 他:新薬と臨牀 67(6):82~93, 2018.	
監修 (裏面)	海老名総合病院 糖尿病センター センター長 平野 勉 先生		昭和大学病院附属 昭和大学東病院 糖尿病・代謝・内分泌科 平野 勉 先生	

## 報告書見本

### (新サービス報告書見本)

sd LDL-C (健診) 検査報告書

今回の検査結果は **49.9** となります。

判定	説明	血管のイメージ
異常なし 25mg/dL未満	sd LDL-C値は正常範囲です。今後も正しい生活習慣・運動習慣を継続してください。	
軽度異常 25~34.9mg/dL	sd LDL-C値が少し高いです。生活習慣改善とともに、医師の指導のもと適切な薬物治療を継続してください。	
中等度異常・生活改善 35~44.9mg/dL	sd LDL-C値が高いです。生活習慣改善とともに、医師の指導のもと適切な薬物治療を継続してください。	
重症度異常・治療 45mg/dL以上	sd LDL-C値がかなり高いです。動脈硬化を引き起こすリスクが高いため、循環器専門医への受診をお勧めします。	

監修: 東京医科歯科大学病院 保険医療管理部 藍 真澄 先生  
 参考文獻: 中村 麻里衣 先生(東京医科歯科大学), 他:新薬と臨牀 71(1):3~12, 2022.  
 本報告書は、複製・転載としてご利用いただくことはできません。

sd LDL-Cは、**超悪玉コレステロール**と呼ばれ、心臓病や脳卒中の原因となる動脈硬化を引き起こす物質です。この数値が高いほど、リスクが高まります。

～生活習慣改善のポイント～

**食事**  
1日3度の食事をきちんとって、間食や夜食をひかえましょう。

**運動**  
有酸素運動を継続的に行いましょう。継続的な運動はsd LDL-C値を下げる効果があります。運動の種類としては、ウォーキングなどの有酸素運動が効果的です。

**喫煙**  
禁煙を行い、受動喫煙の回避をお勧めいたします。喫煙・受動喫煙は動脈硬化の原因をより起こす大きな要因のひとつです。

担当医師にご相談ください

すでに何らかの病気を治療中の方は食事・運動について必ず担当医師にご相談ください。  
 \*定期的にsd LDL-Cを測定し、前回の検査結果と比較して数値が下がっているか、確認する必要があります。  
 ※喫煙が原因でsd LDL-C値が高くなる場合があります。禁煙することで数値が下がります。

監修: 海老名総合病院 糖尿病センター センター長 平野 勉 先生

### (現サービス報告書見本)

sd LDL-C (健診) 検査報告書

今回の検査結果は **49.9** となります。

判定	説明	血管のイメージ
正常 30.0mg/dL未満	sd LDL-C値は正常範囲です。今後も正しい生活習慣・運動習慣を継続してください。	
軽度異常 30.0~39.9mg/dL	sd LDL-C値がやや高いです。生活習慣改善とともに、医師の指導のもと適切な薬物治療を継続してください。	
中等度異常 40.0~49.9mg/dL	sd LDL-C値が高いです。生活習慣改善とともに、医師の指導のもと適切な薬物治療を継続してください。	
要治療 50.0mg/dL~	sd LDL-C値がかなり高いです。動脈硬化を引き起こすリスクが高いため、循環器専門医への受診をお勧めします。	

監修: 東京医科歯科大学医学部附属病院 保険医療管理部 藍 真澄 先生  
 参考文獻: 中村 麻里衣 先生(東京医科歯科大学), 他:新薬と臨牀 67(6):82~93, 2018.  
 本報告書は、複製・転載としてご利用いただくことはできません。

sd LDL-Cは、**超悪玉コレステロール**と呼ばれ、心臓病や脳卒中の原因となる動脈硬化を引き起こす物質です。この数値が高いほど、リスクが高まります。

～生活習慣改善のポイント～

**食事**  
1日3度の食事をきちんとって、間食や夜食をひかえましょう。

**運動**  
有酸素運動を継続的に行いましょう。継続的な運動はsd LDL-C値を下げる効果があります。運動の種類としては、ウォーキングなどの有酸素運動が効果的です。

**喫煙**  
禁煙を行い、受動喫煙の回避をお勧めいたします。喫煙・受動喫煙は動脈硬化の原因をより起こす大きな要因のひとつです。

担当医師にご相談ください

すでに何らかの病気を治療中の方は食事・運動について必ず担当医師にご相談ください。  
 \*定期的にsd LDL-Cを測定し、前回の検査結果と比較して数値が下がっているか、確認する必要があります。  
 ※喫煙が原因でsd LDL-C値が高くなる場合があります。禁煙することで数値が下がります。

監修: 昭和大学病院附属 昭和大学東病院 糖尿病・代謝・内分泌科 平野 勉 先生